

FTSE Russell、ターゲット・ エクスポージャ・インデックスを発表

- FTSE Russell が新たに発表したターゲット・エクスポージャ・インデックスは、ポートフォリオのエクスポージャを高い透明性をもって長期的に制御したいという投資家のニーズに応えるべく開発された
- FTSE All-World や Russell 1000 などを対象としたインデックスを用意
- LGIM がいち早く英国の年金基金向けに FTSE ターゲット・エクスポージャ・インデックスを導入
- 投資家は、運用ポートフォリオのエクスポージャと投資哲学をより密接に連携させたいとの意向を強めている

インデックス、データおよびアナリティクスの世界的なプロバイダーである FTSE Russell は本日、FTSE ターゲット・エクスポージャ・インデックスをローンチいたしました。この新たなインデックスを活用することにより、投資家は、リスク・ファクター、業種、国から、サステナブル投資関連の指標まで、様々なエクスポージャの目標を明示的に設定し、実現することが可能になります。

この新たなインデックスにより、運用ポートフォリオのエクスポージャと投資哲学をより密接に連携させることが可能となります。投資家はバリュー、クオリティ、低ボラティリティ、サイズ、モメンタムといった一般的なリスク・ファクターや業種別・国別分類へのエクスポージャを正確に調整することができます。国連の持続可能な開発目標（SDGs）などサステナブル投資関連の指標にも応用が可能です。不要なファクター・エクスポージャの中立化を含め、エクスポージャを正確に制御することで、インデックスのトラッキング・エラーの管理を強化することが可能になります。

FTSE ターゲット・エクスポージャ・インデックスは、FTSE Russell のファクター・フレームワークを発展させ、変化する銘柄特性に合わせて、時間の経過とともにファクター・ティルト幅を変化させるというもの

です。極めて重要な点は、このインデックスにおいては FTSE Global Factor Index Series の特徴である高水準の透明性が維持されていることです。

FTSE Russell ターゲット・エクスポージャのメソドロジーは、LGIM を資産運用会社とする英国の確定給付型年金基金によってすでに採用されています。この基金は株式アロケーション全体を、下振れリスクを限定するべく、個別にリスク・パラメーターを設定して意図しないファクターリスクを制御する、マルチファクター戦略に移行させました。

FTSE Russell のリサーチ・アンド・アナリティクス担当ディレクター、アンドリュー・ドゥーガン氏のコメント：

「シングルファクター・インデックスやマルチファクター・インデックスに連動する資産は急速に増加しつつあり、効率的なファクター・アロケーションを通じて、長期的に特定の投資目的に密接に連携するように設計されたベンチマークへのニーズが急速に高まっています。FTSE Russell が新たに発表したターゲット・エクスポージャ・インデックスは、FTSE All-World など、最も広く利用されているフラッグシップ・インデックスの一部で既に利用可能になっています。これは当社のファクター・フレームワークとティルト手法を自然に進化させたものであり、お客様により多くの選択肢を提供するものです。」

LGIM のインデックス・リサーチ・アンド・デベロップメント責任者であるファディ・ザハール博士のコメント：

「LGIM は、ポートフォリオの意図しないファクター・エクスポージャについて幅広く研究を行ってきましたが、ターゲット・エクスポージャ・インデックスは、ポートフォリオに含まれるこうしたエクスポージャがもたらす課題を解決する革新的なソリューションです。この新たなインデックスにより、効率的でシンプルかつ透明性の高い手法を用いた次世代型ファクター投資が可能となります。確定給付型年金基金に、このディフェンシブなファクター・インデックスをソリューションとして選択していただいたことを当社は嬉しく思っております。」

「スマートベータ」とも呼ばれるファクターベースの投資は、大きく成長しつつあります。FTSE Russell が実施した 2019 年スマートベータ年次調査では、調査対象の機関投資家のうち、スマートベータ戦略を採用していたのは 58% で、2018 年に比べて 10% 増加していました。注目されるのは、この調査によると、8 割近く（78%）のアセットオーナーがスマートベータ・インデックスに基づいた戦略を採用しているか、評価中であるか、評価する予定であるということです。



より詳しい情報や、FTSE Global Factor Index Series を構成するインデックスの一覧をご覧になりたい場合は、[ここ](https://www.ftserussell.com/ja/ftse-target-exposure-indexes) (<https://www.ftserussell.com/ja/ftse-target-exposure-indexes>) をクリックしてください。

- 以上 -

詳細お問合せ先:

メディア担当コンタクト

Lucie Holloway (EMEA)	電話番号 +44 (0)20 7797 1222
Oliver Mann (EMEA)	
Tim Benedict (U.S.)	電話番号 +1 917 582 0641 +61 2 8823 3526 電子メール newsroom@lseg.com

エディター向け注記:

FTSE Russell について:

FTSE Russell は革新的なベンチマーク、アナリティクス、データソリューションを世界中の投資家に提供するグローバルインデックスリーダーです。FTSE Russell は何千ものインデックスを算出し、70 カ国以上の市場や資産クラスを測定、ベンチマーク化し、そのカバー率は世界の投資市場の 98% に及んでいます。

FTSE Russell のインデックスの専門知識とプロダクトは、世界中の機関投資家や個人投資家によって幅広く使用されています。現在、約 15 兆ドルの資産が FTSE Russell のインデックスをベンチマークとして利用しています。30 年以上にわたり、主要な資産保有者、資産運用会社、ETF プロバイダー、投資銀行などが、投資パフォーマンスのベンチマークとし、投資ファンド、ETF、ストラクチャード商品、インデックス・ベースのデリバティブ商品を組成するために FTSE Russell のインデックスを選択しています。

一連の中核となる普遍的原理が、FTSE Russell インデックスの設計と管理の指針となっています。透明性が高くルールに基づいた手法は、主要市場参加者で構成される独立委員会から得られた情報が裏付けとなっています。FTSE Russell は、業界最高レベルの基準をインデックス組成やガバナンスに適用することにフォーカスし、IOSCO の原則を取り入れています。また FTSE Russell は、インデックスのイノベーションとお客様とのパートナーシップに注力し、提供物の幅、深さや到達度を強化しています。

FTSE Russell は、ロンドン証券取引所グループの完全子会社です。

詳細は ftserussell.com/ja をご覧ください。

© 2020 London Stock Exchange Group plc および関連グループ事業体 (「LSE グループ」)。LSE グループには、(1) FTSE International Limited (「FTSE」)、(2) Frank Russell Company (「Russell」)、(3) FTSE TMX Global Debt Capital Markets Inc および FTSE TMX Global Debt Capital Markets Limited (合わせて「FTSE Canada」と表示します)、(4) MTSNext Limited (「MTSNext」)、(5) Mergent, Inc. (「Mergent」)、(6) FTSE Fixed Income LLC (「FTSE FI」)、(7) The Yield Book Inc. (「YB」)、(8) Beyond Ratings S.A.S. (「BR」) が含まれます。無断複写・転載を禁じます。



FTSE Russell®はFTSE Russell、FTSE Canada、MTSNext、Mergent、FTSE FI、YB、BRの商標です。ここで使用される「FTSE®」、「Russell®」、「FTSE Russell®」、「MTS®」、「FTSE4Good®」、「ICB®」、「Mergent®」、「The Yield Book®」、「Beyond Ratings®」、およびその他の商標ならびにサービスマーク（登録されているか否かは問いません）はすべて、LSE グループの該当メンバー会社またはそのそれぞれのライセンサーによって所有またはライセンスを供与されているか、FTSE、Russell、MTSNext、FTSE TMX、Mergent、FTSE FI、YB、BR が所有、またはそのライセンスに基づいて使用されています。FTSE International Limited は、ベンチマーク管理者として金融行為監督機構により認可され規制を受けます。

全ての情報は情報提供のみを目的として提供されています。本資料に記載されている全ての情報及びデータは、LSE グループが正確かつ信頼できると考える情報源から入手したものです。ただし、人的ミスや機械の誤作動、その他の要因による誤りの可能性があるため、当該情報及びデータはすべて“現状のまま”提供されており、これらの誤りに対していかなる保証もいたしません。LSE グループのメンバーまたは各取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーのいずれも、情報の正確性、適時性、完全性、市場性、またはFTSE Russell の商品（インデックス、データとアナリティクスを含むがこれらに限定されるものではない）の使用から得られる結果の正確性、適時性、完全性、市場性、あるいは特定の目的に対するFTSE Russell 商品の適切性または適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる主張、予想、保証、表明も行いません。FTSE Russell の商品を通じてアクセス可能な過去のデータの表示は、情報提供のみを目的として提供されており、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。

LSE グループのメンバーまたは各取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーは、(a) エラーの全部または一部に起因する、またはその結果に起因する損失または損害 これらの情報またはデータの使用、または本資料または本資料へのリンクの使用、または (b) 本資料に記載されている情報の使用、または使用に起因する（過失またはその他の）たとえLSE グループのメンバーがそのような情報の使用または使用に起因するそのような損害の可能性を事前に知らされている場合であっても、直接、間接、特別、派生的または偶発的な損害については一切責任を負いません。LSE グループのメンバーまたはその役員、役員、従業員、パートナー、またはライセンサーのいずれも、投資勧誘を提供しておらず、本資料に記載されている情報やFTSE Russell の商品を通じて入手可能な情報（統計データおよび業界レポートを含む）は、財務または投資に関するアドバイスや財政的なプロモーションを構成するものとみなすべきではありません。

過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。チャートやグラフは説明目的のためだけに提示されています。提示されているインデックスのリターンは投資可能な資産における実際の取引の結果を表しているとは限りません。提示されている特定のリターンはバックテストされたパフォーマンスを反映している場合があります。インデックス算出開始日以前の全てのパフォーマンスはバックテストされたパフォーマンスです。バックテストされたパフォーマンスは実際のパフォーマンスではなく、仮説に基づいたものです。バックテストの計算は、インデックスの算出が正式に開始されたときに有効であったものと同じメソッドロジーに基づいています。ただし、バックテストされたデータは、インデックスのメソッドロジーの適用による後講釈のメリットを反映している場合があり、インデックスの過去の計算は、インデックスの計算に使用される元の経済データの改訂に基づいて月によって変化する可能性があります。

本資料には将来的な評価が含まれている場合があります。これらは将来の状況に関する多くの前提に基づいており、こうした前提は最終的に正確ではないことが判明する場合があります。このような将来的な評価はリスクや不確実性を内包しており、様々な要因による影響を受ける可能性があるため、実際の結果と大きく異なる場合があります。LSE グループのメンバーまたはそのライセンサーは、将来的な評価をアップデートする義務または責任を負うものではありません。この情報のいかなる部分も、LSE グループの適切なメンバーの書面による許可なしに、いかなる形式、またはいかなる方法、電子媒体、機械的な方法、複写、記録、または別の方法であっても、複製、保存（検索システムによる保存）、または送信されることはできません。LSE グループのデータの使用及び配布には、FTSE、Russell、FTSE Canada、MTSNext、Mergent、FTSE FI、YB、BR 及び（または）それぞれのライセンサーからのライセンスが必要です。